

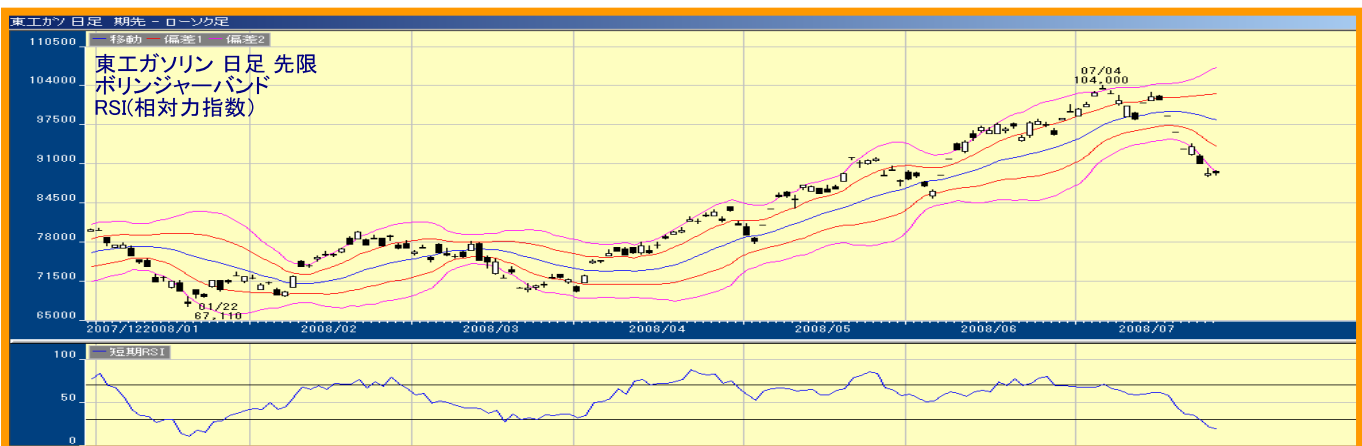
□ アナリスト週間相場予想

	原油 Oil	ガソリン Oil	灯油 Oil
江崎			
西			

Pick up News

[注目スケジュール]
 7/25 米商品先物取引委員会 (CFTC) 建玉明細
 30 石油連盟週報
 米エネルギー情報局 (EIA) 週間在庫
 8/1 CFTC建玉明細

□ テクニカル分析 (担当: 西 勝之)



チャートは東京ガソリン日足にボリンジャーバンドを被せたものである。7/17日に98210円(7/10安値)をネックラインとするWTトップを完成し下降中、翌18日にはバンド2σと-2σの拡散が観測され、18日を起点とする下降バンドウォークに突入している。かなり息の長い上昇相場を演じてきただけに、一旦上昇トレンドを踏み外した現在は、更に大幅な調整安を想定すべき。因みに先週紹介した一目均衡表のサインでは現在日足は雲の支持帯の中にある。この支持体の下限は86100円。これを下方ブレイクした場合、綺麗な三役逆転状態が完成する。次なる単純パターン上のサポートラインは85110円(6/5)これをブレイクダウンした場合は70000円台後半が目標値となる。戻り売り方針変わらず。(7/25 前引け現在)

□ ファンダメンタル分析 (担当: 江崎 和弘)

NY原油相場はピークアウト感を強める動きで、中期的に120ドル割れを窺うとの見方も出始めた。最近のボラティリティを勘案すれば、きっかけ一つですぐにも達成しそうな値幅であるが、さすがに下落スピードも緩やかになると見られているようだ。新聞紙上でも、米議会で審議されている投機規制の問題や、ファンドマネーの流出が原油のみならず、穀物にも及んでいることが解説されている。目先の動向はファンドのポジション調整の具合によろうが、もはやピークアウトした相場と見て対処すべきであろう。つまり、流れは押し目買いから戻り売りに変わったということである。これまでの上昇が力強く長期に渡ったことで、何かと値頃感をもって割安に見えてしまうが、投機による嵩上げ部分が本格的に剥がれるのであれば、下値はもっと深いところにあると考えるべきだろう。

例えば、投機規制に関して最も厳格な対処が取られた場合、(おそらくこれは年金基金の締め出しを意味しているものと思うが)、原油相場は70~80ドルの水準まで下がりがかねないとの意見もある。少なくとも、年末には100ドル説があっただけに、120ドルではなく100ドルまでの下げ余地はあると見て慎重に取り掛かる必要がある。

肝心の投機規制に関してはいつごろ結果が出るかは不明。法案を提出しているのは民主党系議員であり、レームダック化してしまったブッシュ政権を垣間見ることができる。大統領選挙の行われる11月、そして実質的に次期政権が動き出す来年1月頃の相場は果たしてどうなっているのか。うまいこと投機筋、そしてマスコミに踊らされてきた買いは、いよいよ出口政策を本格的に考えねばならなくなったと言えそう。ようやくファンダメンタルズに立ち返りつつあり、そういう意味では相場が見えやすくなることに期待したい。

◆ 添付されている『取引の重要事項』をかならずご確認ください。

▼商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は、相場の変動により利益も損失も生ずるおそれのある取引です。また、取引本証拠金の額に比べて約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、預託した取引証拠金の額を上回る損失が発生することがあります。

▼取引証拠金とレバレッジについて

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要となります。お取引を始める際に預託する取引本証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)あたり13,000円から210,000円でお取引いただけます。但し、実際の取引金額は取引本証拠金の額の約15倍から約40倍という著しく大きな額になります。また取引証拠金等は、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので注意が必要です。またその額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。
※上記取引証拠金は2008年7月1日現在の金額です。

▼取引手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。その額は商品によって異なりますが、最低取引単位(1枚)あたり1,154円(往復)から18,270円(往復)となります。
※上記委託手数料は2008年7月1日現在の金額です。

▼自己判断

この資料は投資の参考となる情報提供を目的とするものです。投資の決定はご自身の責任と判断でなされますようお願い申し上げます。

※エイチ・エス・フューチャーズは日本商品先物取引協会に加入しております。
※当社の企業情報に関するディスクロージャー資料は当社(本社・支店及びホームページ)又は、日本商品先物取引協会(本部・支部及びホームページ)で閲覧できます。

※お取引に関する苦情・ご相談は、下記の窓口にて承っております。

エイチ・エス・フューチャーズ 苦情相談センター

TEL: 0120-50-4288

東京都新宿区西新宿5丁目3番2号

日本商品先物取引協会 相談センター

[本部]

TEL: 03-3664-6243 東京都中央区日本橋小網町9番4号 日商協ビルディング3階

[中部支部]

TEL: 052-220-1652 愛知県名古屋市中区丸の内1-16-2 中部大阪商品取引所2階

[関西支部]

TEL: 06-6543-8502 大阪府大阪市西区阿波座1-10-14 関西商取ビル4階

商品取引員 エイチ・エス・フューチャーズ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿5丁目3番2号 TEL: 03-3299-0301(代表)